

東京オートサロン 2015 「AUTOWAYブース」

参加メーカー

【1】 Advanti(アドヴァンティ) シンガポール

Advanti RACING は、4つの製造工場を拠点に、世界約 60 ヶ国で展開しているグローバルブランドです。モータースポーツにも力を入れ、F1 においても、2014 年度の年間チャンピオンチームである《メルセデス AMG ペトロナス》のオフィシャルプライヤーとして参加しています。

そんな Advanti RACING のブースで見逃せないのが、2015JAPAN NEW MODEL として発表された製品。CONCEPT-AG J275、VIGOROSO N765 の2デザインが登場します。また、最新の加工技術を採用した2015 世界展開モデルも数多く展示していますので、こちらも要チェックです。

世界各国で、常時200余りのデザインを提供している Advanti RACING。その膨大なラインナップの中から、インポートカー、国産車双方に向けた最先端の製品を日本のみなさまにお届けいたします。

【2】ATR RADIAL(エーティーアール・ラジアル)インドネシア

日本では“ATR Sport”、海外では“アキレス・ラジアル”の名で知られる ATR RADIAL は、モータースポーツ界で誰もが認める超有名ブランド。卓越したハンドリング性能に加え、若い感性を刺激する洗練されたデザインが、ATR RADIAL の持ち味です。近年、世界各国のドリフト選手権で輝かしい成績を収めている齋藤太吾選手も、このブランドのサポートを受けたドリフトカーを使用しています。

そんな ATR RADIAL にとって、アジア屈指の先進国であり、ドリフトの発祥の地でもある日本は、ぜひとも認知度を上げていきたい国のひとつ。「最高の品質と性能を日本のお客さまに提供できる唯一の会社となれるよう、“日出ずる国”日本で、ともに発展し、輝きたい」。それが、ATR RADIAL の願いです。

今回、ATR RADIAL が全世界で初めて披露するのは、東京オートサロンでしか見られない“インドネシアの美しい自然とテクノロジーの融合”です。インドネシアの雄大なランドスケープやカルチャーをとらえた映像を、ドリフトカーの緻密でスピード感あふれる世界と融合させ、デジタル・マッピング化。ATR RADIAL が誇るワールドクラスのレーサー、齋藤太吾選手とロビー西田選手との撮影会やサイン会とともに、来場者の皆さまに心から楽しんでいただけるイベントをご用意してお待ちしています。

魅力あふれる ATR RADIAL のブースに、ぜひ一度足をお運びください。

【3】HIFLY(ハIFライ) アメリカ

アメリカはテネシー州メンフィスに拠点をかまえるグローバルタイヤディストリビューター、ユニコーン・タイヤ。人気ブランドの商品を北米、ヨーロッパ、日本を始め世界各国にて販売しています。

そんなユニコーン・タイヤが今回ご紹介するのは、欧米で爆発的な人気を博しているブランド・HIFLY の製品。最高のコストパフォーマンスを誇るこのブランドのタイヤを、業界 No.1 のオートウェイ社を通して、お客さまに知っていただきたいと考えています。

人気・実力ともに比類ない HIFLY のラインナップの中でも、高い静粛性と快適な乗り心地を提供するウルトラハイパフォーマンスタイヤ HF805 や、環境に優しく、低ノイズで快適な HF201、優れたコストパフォーマンスを生み出すスタッドレスタイヤ Win-turi212 などは、特にオススメです。

ユニコーン・タイヤの主力商品である HIFLY の魅力を、ぜひ会場でお確かめください。

【4】MOMO(モモ) イタリア

MOMO は 1964 年にイタリアで産声をあげ、昨年、設立 50 周年を迎えました。ステアリングのイメージが強いブランドですが、様々なレースで鍛錬された長年の経験、革新のデザイン力と熟練の職人技が、ロードホイールやタイヤにも脈々と受け継がれています。

レッドとグレーのコントラストがイタリアらしい今回のブースでは、ブランド 50 周年を祝した M-50 ホイールを始め、革新的かつ洗練された各ホイールとサマー&スタッドレスタイヤ、展示車の ALFA MITO がお客さまをお出迎えします。

いち押しは、ロードホイールなら M-50。曲線美とスポーティな魅力を見事に両立させ、センターカバーが流麗なデザインをより際立たせます。また、タイヤなら OUTRUN M-3 がオススメ。ブランド最高峰の性能を備えたこの製品は、静粛性・快適性共に高レベルです。

「ステアリングだけじゃない、ロードホイールもタイヤも MOMO」。そんな納得のラインナップを、会場でお確かめください。

【5】NANKANG(ナンカン) 台湾

台湾初のタイヤメーカーとして、60年近い歴史を誇るナンカン・タイヤ。その製品ラインは、乗用車用タイヤ(PCR)、軽トラック用タイヤ(LTR)、バイク用タイヤ(MCR)、ホールスチールタイヤ(LTS)と、多岐にわたっています。台湾と中国に2つの工場を有し、世界各国の厳しい基準を満たすことのできる、質の高い製品を生み出しています。

そんなナンカンが今回最もオススメしたいのは、静粛性が高く、燃費向上にもつながるエコタイヤ(ECO-2+)です。また、世界中のお客様から満足度95%という高い評価をいただいているスポーツタイヤ(NS-2R)、雪の日のドライブで高い安全性を確保できるよう、特別なコンパウンドとパターンデザインを施したスタッドレスタイヤ(ESSN-1)も、ぜひお試しください。

また、製品以外にも、見どころいっぱいのイベントを随時開催。コンパニオンの撮影だけでなく、ナンカン特製のグッズをゲットできるチャンスもありますので、ぜひご来場ください。

日本は、ナンカンが最も重視している市場のひとつ。日本で販売できることを誇りに思っています。ですが、現状で満足しているわけではありません。日本の規格にも適合できるよう、さらに製品の質を高める研究を日々重ねております。

【6】ZEETEX(ジーテックス) UAE

全世界規模で、車両用タイヤ、バッテリー、オイルの輸出入におけるリーディングカンパニーのひとつであるZAFCO(ザフコ)。そんな世界的企業の自社ブランドとして世界中に展開されているのが、ZEETEXです。

世界85カ国で販売されているZEETEXは、品質、安全性、環境対策にもぬかりはありません。DOT(アメリカ)、E MARK(欧州)、REACH(欧州)、INMETRO(ブラジル)、GSO(湾岸諸国)、SONCAP(ナイジェリア)、SNI(インドネシア)など、その商品は世界各国の安全基準を満たしているのです。

オートウェイブスでお披露目する商品の中で、特に見ていただきたいのは、2014年に発表した、インドネシア向けの製品ラインです。ZEETEXならではのクオリティに加え、コストパフォーマンスに優れたこの商品は、日本のお客さまのご要望にもきつとお応えできるはずです。

さらに、ZEETEXなら、ドリフトカーやカスタムカー用のシリーズも充実。先日スタートさせたKカーのラインも、日本のお客さまに合わせたデザインやサイズを随時追加していく予定です。日本のお客さまにもご満足いただけるよう、ZEETEXはこれからも進化をつづけていきます。